

報告 秋田地本が 組織拡大総決起集会 を開催 東日本青年部が参加

去る5月15日、国労秋田地本に於いて組織拡大総決起集会が開催され、東日本青年部から4名が参加し激励と交流を深めてきました。

今、国労では将来を見据え、各機関を挙げて大胆に組織拡大・強化に向けた様々な行動を取り組んでいます。地方に於いても国労への新規・復帰加入を勝ち取るため、組合員一人ひとりの「小さな事からコツコツと取り組もう」という組織拡大への意識が高まり、青年労働者の国労加入に向けた取り組みの提起が積極的に行なわれています。

秋田地本での現役青年部との交流は昨年到现在2回目となりましたが、今年は去年に比べ、より多くの仲間が参加するとともに前向きな発言が多く出されました。集会の冒頭、瀬下委員長から国鉄闘争のこの間の経過と解決が迫っている現状について触れられ「長い闘いの中で組織分裂を経験し辛いこともあったが、国労の旗を護るため今日まで頑張ってきた仲間がいる事に勇気づけられています。これからは若い人に積極的にアプローチし、国労加入を自信を持って訴えていこう」という挨拶がありました。

その後、各職場での組織拡大に向けた取り組みや他労組の動向などについて報告がありました。ある職場では転勤で組合員が増えた事により組合掲示板が大きくなりました。その事で他労組の青年労働者が国労の情報に興味を持つようになったという発言。最近で

は国労組合員と若手の職場で、仕事を通しての信頼関係、アフターでは「何でも相談に乗れる個人的な繋がりが築かれるようになってきている」という発言もありました。

参加した青年部からは、挨拶を交え組織現状や職場の実態についての発言、国労に加入した思い、国鉄の分割民営化を家族として経験した青年部員の体験談などを発言しました。そして、将来の国労を担う後輩として、組織拡大は避けて通る事が出来ない課題です。国労に加入する青年は信念を持っているので「差別されたらかわいそう」という考えは捨ててほしいと思います。まじめにしっかり仕事をする姿を魅せ、積極的に他労組の青年に声をかけてほしいと訴えました。

その後、会食をしながら職場で頑張っている事や、それぞれの思いなどを語り合いながら交流を深めてきました。先輩方からは自分の子供と同世代の青年部員と話をしていると、明るく楽しい気分になり「若い人と付き合う事で組織拡大へのやる気も湧いてくる」「何としても青年労働者を仲間迎え分会を活性化させたい」という力のこもった熱い思いも語られました。

国労東日本青年部では今後も各機関と連携し、組織拡大の一翼を担えるように青年部での独自行動や宣伝活動、職場での他労組所属の青年との交流等を積極的に進めていきます。

【国労東日本本部青年部】

